

## 2021年度

### 八王子市民放射能測定室「ハカルワカル広場」

# 総会報告

#### 総会議事録

日時: 2021年6月5日(土) 10時~11時00分

場所: ZOOMによるオンライン会議

出席者数: オンライン23名, ハカルワカル広場5名, 合計28名(出席者氏名省略)

#### 【議事】

全体司会 村松智子

#### 1. 開会挨拶(西田)

2012年1月開設以来, 皆様のご支援のおかげで継続してきました。今回も新型コロナウイルス感染防止の観点から昨年に続きZOOMによるオンライン会議形式で行うことにしました。よろしくお願いいたします。

#### 2. 2021年度役員・事務局メンバー紹介(西田)……承認された。

・役員:

- ・西田照子(代表・総務担当)
- ・相澤武子(会計担当)
- ・小林恵美(会計監査)

・事務局メンバー:

- |                   |               |
|-------------------|---------------|
| ・西田照子(代表・総務担当)    | ・相澤武子(会計担当)   |
| ・二宮志郎(測定全般アドバイザー) | ・鵜飼暁(IT担当)    |
| ・樋谷正勝(名簿担当)       | ・鈴木映子(イベント担当) |
| ・佐々木晃介(総務・広報担当)   | ・石井暁子(会報担当)   |

・金子恵子(会計担当)(事務局外)

#### 3. 議長選出

推薦により金山邦子さんが選出された。

#### 4. 2020年度活動報告(西田) 総会資料(1)参照

#### 5. 2020年度決算報告(相澤) 総会資料(2)参照

6. 2020年度監査報告(小林)

7. 質疑応答

(Q)「放射能から子どもを守ろう 原発ゼロへの会」で「3. 11」の署名活動をしたときハカルワカル広場から応援してもらったが、支援活動にその記載がないのは何故か？

(A)ハカルワカル広場としては常に応援している金八デモの記載にとどめている。他の原発反対の団体、測定室も協力・応援しているが常時ではないため、活動報告には記載していない。

(Q)会費を全部集めれば収支がマイナスにならないで済むのではないか？(未収があるのでは？)

(A)前年度は会計年度を変更したため、前受け金が多く発生した。同様の規模で今年度前受け金の予算を計上したため、会費未収が発生したように見えるが、自然減を除き、ほぼ全員会員継続していただき、会費をいただいている。また10名程度の新規入会もあった。

(Q)お茶会での講師等の謝礼などはどうしているか。

(A)現在はオンラインでやっていることや財政的に苦しいこともあり、お礼は少額の1万円にしている。

(Q)福島の魚のトリチウムを測りたいが。

(A)ハカルワカルではトリチウムは測定できないので、「たらちね測定室」に依頼されるのがよい。

(議長) 2020年度の活動報告、決算、監査が賛成挙手で承認された。

8. 2021年度活動方針案説明(鈴木) 総会資料(3)参照

9. 2021年度予算案説明(相澤) 総会資料(4)を参照

10. 質疑応答

(Q)活動方針の1では内部被ばくに限っているのはなぜか。

(A)食品を測ることを中心に行っているためこのように書いているが、検討の余地があると思っている。今後検討します。外部被ばくを軽視しているのではない。

(補足) この測定室は今後測定依頼が無くなっても長く続け、万一また原発事故があったときに測定が、即できるように維持しておきたい(事故が起きてから、即、測定室を立ち上げるのは不可能である)。そのために、最初の寄付金には手を付けずに保持していることをご理解いただきたい。

(議長)2021年度活動方針、会計年度予算が賛成挙手で承認された。

11. 閉会挨拶(鈴木)

(文責 西田 眞)

以上、この議事録は正確であることを証します。

2021年6月7日

代表 西田照子

議長 金山邦子

閉会后、ハカルワカル広場掲示板(BBS)のガイダンスが行われた。

## 2020年度活動報告(2020.4.1~2021.3.31)

### 1) 測定活動

1. 検体110件を測定。その全測定データの公開(ホームページに即日公開)

(参考:2012年度1280件,2013年度927件,2014年度446件,2015年度415件,2016年度324件,2017年度318件,2018年度[本年度のみ1年3ヶ月間]349件,2019年度259件)

公開シート上,インターネット上で測定データへのコメント。単に機械が出す数値を出すにとどまらないレベルの(スペクトルを含む)データ公開。

2. 定点観測(公園,個人宅など,会員モニターによる)

3. 微量放射能洩れ監視プロジェクト

セシウムが凝縮され易い雨どいの下にゼオライトを置き,モニターのご協力により,1,2ヶ月に1回測定し,放射能の微量洩れを監視するプロジェクトを2015年よりスタート,継続中。

(モニター参加者は2020年度14人)

4. 10年目の土壌測定プロジェクト

原発事故後10年経って土壌の放射能汚染はどうなったのだろうか?この疑問に応える形で10年目の土壌測定プロジェクトが2020年11月に発足しスタートした。約1年間かけて各地場所の土壌を測定し過去のデータと現在のデータを把握し実状を検証することにした。(期間:2020年11月~2021年12月)

5. 新型コロナウイルス感染予防のため,次の期間を休室とした。①2020.3.3~5.31 ②2021.1.12~3.9  
また,開室も午前中10時~12時とした。(現在もその態勢で続行中)

### 2) 啓発活動

1. 映画会,各種イベント関係

今年度は新型コロナウイルス感染予防のためすべて中止とした。

2. 定例お茶会の実施(担当:事務局)

原則,毎月第一土曜日に開催。今年度は新型コロナウイルス感染予防のためすべてZOOMによるオンライン形式で9回実施した。

各定例お茶会のテーマは,

(2020年)

- ・5月9日 : ダイオキシンの危険性(講師:渡辺敦雄さん[元原子炉設計者])
- ・7月4日 : 原発は地球温暖化防止に役立たない(担当:二宮)
- ・8月8日 : 「太陽が落ちた日」トークセッション(アヤ・ドメーニグ監督も参加)
- ・9月5日 : トリチウム汚染水の海洋放出について(講師:渡辺敦雄さん)
- ・10月3日 : 汚染林を燃やすバイオマス発電の問題点(講師:青木一政さん)
- ・11月6日 : 原発の断りかた(講師:柴原洋一さん)
- ・12月5日 : 寸劇「こどもたちは自分で考える」後意見交流会(担当:二宮他スタッフメンバー)

(2021年)

- ・1月9日 : 「核と原発のない世界」へむけた展望と課題(講師:竹峰誠一郎さん)
- ・2月6日 : 教育の現場から-放射能教育の問題点(講師:宮澤弘道さん)

### 3. 出張講演, 説明会, 測定会の実施。

- ・にしとうきょう市民放射能測定所「あるびれお」との勉強会をZOOMによるオンラインやメールによるQ & A形式で実施（出席者：あるびれお3名、ハカルワカル2名）
- 2020/11：微量放射能測定ゼオライト設置要領 ゼオライト, 不織布, 保護ネットの購入先など
- 2020/12/18：ZOOM勉強会 楽しい放射能測定
- 2020/12：自然放射能のCs134測定影響についてガイダンス
- 2021/1～2：側溝の土壌測定と雨水タンクへのゼオライト設置についてガイダンス
- 2021/3/17：ZOOM勉強会 測定ノートブックの表示画面設定と画面印刷について

### 3) 広報・宣伝活動

1. 会報の発行 年3回維持会員に向けて郵送。測定データの報告と解説。外部からの寄稿, 活動報告, 維持会員の声などを掲載。
2. ホームページ, ボランティアBBS を通して活動を案内, 報告。
3. イベント(映画会, 見学ツアー)今年度は新型コロナウイルス感染予防のためすべて中止。
4. フェイスブック, ツイッターに活動の広報

### 4) 組織運営

1. 事務局体制による運営(月1回の事務局会議開催)
2. 会計による会計事務(支払い, 交通費支給, 維持会員更新の案内郵送など)
3. 維持会員, ボランティア拡大活動  
(維持会員194名, ボランティア登録数16名, 実際にシフトに入っている人12名, 2021.3.31現在)
4. IT(ホームページ, 予約・シフトカレンダー)の維持・管理
5. 名簿管理, 整理など
6. 手づくりグッズ, 静岡茶販売, その他の寄付によるグッズの販売による資金作り

### 5) 個人活動, 他団体・グループへの支援及び交流

1. 放射線量測定装置(Radilog Walker), 測定器(TC300, TC200)を貸し出し, 市民, 他団体に協力。
2. 原発反対八王子行動(金八デモ)への協力(HPに情報掲載, 電話問い合わせに対応)。
3. ふくはち(福島子ども支援八王子), 「まなび・つなぐ広場」の活動を支援, 協力。
4. 浜岡(浜ネット), ちくりん舎, たまあじさいの会などの他の団体, 測定室との交流, 協力, 支援。

### 6) その他(ご報告)

- ・町田の測定室「はかる一む」から2020年10月「無償で借りていた測定室の場所を退去することになり, 独立で運営が難しくなり, 貴測定室に合流して測定活動を続けたい」とのお話があり, 話し合いの結果ハカルワカル広場への合流となった。2名のボランティアが加わり, 測定器(EMF211)も増えた。
- ・規約の付則3を次のように追加した。  
「10月1日以降に新規入会の場合はその年度にかぎり半額とする。2020年度に遡及して運用する。」  
(理由) 加入期間が半分以下であるのに年額全額を会費とするのは不合理であるので。

総会資料(2)

## 2021年度ハカルワカル広場（八王子市民放射能測定室）の活動方針

1. 子どもたちを内部被ばくから守るために、ボランティアによる測定活動を続け、市民生活に役立つことをめざす。
2. 測定の結果をホームページに全て公開し、市民とシェアする。(客観的事実を知らせる)
3. 測定室独自の研究、調査のための測定活動を行う。(魚などの食品の自主測定、公園・山地の土壌測定、微量放射能洩れ監視プロジェクト、10年目の土壌測定プロジェクトを協賛者の協力を得て実施)
4. 測定活動のみならず、市民が集う場としての機能を果たす。
5. 原発、放射能の影響、核の被害、再生可能エネルギーについての学習の場をめざす。(月1回のお茶会の開催、映画会の開催など。他団体の見学、学習の場にもする)
6. 会報を年3回発行し、測定データ、放射能の知識などの広報活動を行う。
7. 放射能被害の元凶たる原発に反対する活動の拠点をめざす(金八デモ支援)。測定活動によって、原発被害を監視する機能も果たす。
8. 福島支援(「福島子ども支援・八王子」への協力など)を行う。
9. ほかの測定室や市民運動との連携をはかる。
10. 行政に対し、放射能、原発に関する問題点を指摘し、働きかける。
11. 維持会員、ボランティア、測定依頼者との交流を深める。

第1条（名称）この会は「八王子市民放射能測定室」（以下「測定室」という）という。

第2条（所在地）本測定室は、八王子市八幡町5-11 八中ビル2Fにおく。

第3条（目的）市民（八王子市民に限らない）、とりわけ子どもたちを放射能の内部・外部被ばくから守るため、食品などの放射能測定を行い、市民と子どもたちの未来を守ることを目的とする。また、測定値は原則として公表し、その結果を市民と共有する。

第4条（事業内容）上記の目的を達成するため、次の事業を行う。

- ① 食品などの放射能測定を行い、原則として公表する。
- ② 会報の発行・学習会の実施・情報の提供などを行う。
- ③ 必要に応じて行政や生産者などへの働きかけを行う。
- ④ その他目的を達するために必要と思われる事業を行う。

第5条（構成員）この会は、上記の目的に賛同する個人会員及び団体会員、および測定ボランティアによって構成される。

第6条（会費）会費の種別を会員・学生会員・団体会員とし、以下の額とする。

- ①会員 年1口6,000円
- ②学生会員 年1口3,000円
- ③団体会員 年1口10,000円

第7条（測定ボランティア）測定ボランティアは測定とその他運営に必要な業務を行う。また随時研修を受講し、正確な測定ができるようにする。

第8条（組織）上記の事業内容の遂行のために、次の組織を置く。

- ① [総会] 本測定室の運営にかかわる方針は、年一回開催する総会で決定され、運営委員会に委嘱される。総会の議決は総会出席時の構成員の過半数をもって決定する。
- ② [運営委員会] この会の運営は、会員および測定ボランティアによって構成される運営委員会の協議により進められる。日常的運営のために事務局を置く。

第9条（役員）運営委員会には次の役員を置く。

代表（3名まで） 会計（1名以上） 会計監査（1名）

第10条（規約の変更）必要な規約の変更は総会に諮って変更できる。

第11条（臨時総会）代表の要請により臨時総会を開催できる。

付則1 この規約は2012年1月1日より施行する。

付則2 本改定版は2015年度2月7日より施行する。

付則3 10月1日以降に新規入会の場合はその年度にかぎり半額とする。2020年度に遡及して運用する。